

EARTH MAN

アースマンシリーズ

エアー インパクトレンチセット

ATL-100



お客様へ

●本製品は一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。



取扱説明書 **保証書付**

ご使用前に本紙最終ページ「保証書」の内容をご確認・ご了承ください。
また、取扱説明書の内容を十分理解したうえで使用し、お手元に大切に保管してください。

目次

お使いになる前に 1

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために

本製品について 5

用途

仕様

各部の名称・セット内容

使用前の準備 6

プラグの取り付けと給油について

接続とならし運転

使い方 8

使用方法

お手入れ 10

保守・点検

故障かな？と思ったら

お買い上げの後に 11

保証書

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

- 必ず取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。取り扱いに不慣れな人や正しい操作のできない人はお使いにならないでください。
- 本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険がおよぶ可能性を防止するために、下記のように『警告』・『注意』・『注』

の3種に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってお使いください。

また、本製品はDIY用として開発されています。一般家庭用としてお使いください。

- 『注意』に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容
 注	本製品や付属品の取り扱いなどに関する重要な注意事項

本製品を安全にお使いいただくために

警告

1. 作業場所はいつもきれいに保ってください。

- 作業場所はいつも整理・整頓し、きれいに保ってください。また作業の妨げになる物は、取り除いてください。

2. 作業場所の周囲状況も考慮してください。

- 作業場は十分明るくしてください。
- ガソリン・ガス・シンナー・塗料・接着剤など可燃性の液体やガスのある場所では使用しないでください。(爆発・火災の原因)
- 濡れた所や湿気の多い所・雨中では使用しないでください。(故障の原因)
- 木くずなどのゴミやほこりが多く空気が汚れている場所では使用しないでください。(事故・故障の原因)

3. 作業者以外を近づけないでください。

- 特に小さなお子様は作業場や本製品に近づけないでください。

4. 作業に適した服装で作業してください。

- 粉塵などが多く発生する作業では、保護マスク・保護メガネを着用してください。ヘルメット・保護手袋・滑り止めのついた保護長靴などを着用し、作業に適した服装(すそじまりの良い長袖、長ズボン)で行ってください。
- 長い髪は帽子などで覆ってください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。

お使いになる前に（続き）

5. 損傷した部品がないか確認してください。

- 商品開封後は梱包内容を確認し、輸送による破損・ゆりみ・ひび割れなど本製品や付属品に異常がないことを確認してください。
- 使用前には必ず試運転を行い、本製品の破損・ゆがみ・異常音などがいないことを確認してから作業してください。
- 本製品を誤って落としたりぶつけたときは、破損や亀裂がないことを確認してください。

6. 無理な使用をしないでください。

- 足場の不安定な場所や無理な姿勢で作業しないでください。
- 本製品の運転は、振動・衝撃を伴います。長時間の連続作業は避け、休みながら作業してください。

7. 使用圧力は0.6～0.78MPaの範囲内に調整してください。

- 使用圧力を超える圧力では絶対に使用しないでください。(事故・ケガ・故障の原因)

8. 動力源は乾燥したきれいな圧縮空気を使用してください。

- 圧縮空気以外の高圧ガスは、絶対に使用しないでください。(爆発の原因)

9. 作業中は絶対に先端を人に向けてしないでください。

10. 先端工具は、必ずインパクト用を使用してください。

- 手動用の工具を取り付けて使用しないでください。(破損の原因)

11. 先端工具は確実に取り付けてください。

- 先端工具を取り付けた状態で空回転させないでください。先端工具が外れて飛び出す恐れがあります。(ケガ・破損の原因)

12. 必ずエアー用のホースに接続してください。

- エアーホースは、必ずエアー用で内径6.5mm以上のものを使用してください。水道用・ガス用などのホースは破裂の恐れがありますので使用しないでください。

13. エアーホースに確実に接続してください。

- エアーホースに接続する前に、調整や先端工具の取り付けに用いた工具が取り外されていることを確認してください。
- エアーホースを脱着するときは、スイッチ引金・回転部に手を触れないでください。

14. エアーホースの取り扱いに注意してください。

- エアーホースを乱暴に扱わないでください。
- 使用するエアーホースの破れ・金具のゆりみなどがいないことを確認してください。異常があるものは使用しないでください。

15. 本製品でボルト・ナットを締め付けた後は、必ずトルクレンチ・クロスレンチなどで本締めしてください。

16. 固く締まっていたり、サビたボルト・ナットなどは回らない場合があります。

- このような場合は、無理をせずクロスレンチなどの手動工具を使用してください。0.78MPa以上の空気圧で使用すると本体破損の原因となります。

お使いになる前に（続き）

17. 不意な始動は避けてください。

- 本製品をエアーコンプレッサーに接続した状態で放置したり、スイッチに指をかけて持ち運ばないでください。（事故・ケガの原因）
- 使用しないときや、先端工具を交換するときは、必ず接続しているエアーホースを外してください。

18. 油断せず、十分注意して作業してください。

- 使用するエアーコンプレッサーの取扱方法・作業の仕方・周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れていたり、体調のすぐれないときは使用しないでください。

19. 使用するエアーコンプレッサーのタンク内に圧縮空気が充填されていない状態、または吐出圧力がかかっていない状態でエアーホースを脱着してください。

- 圧力がかかったままエアーホースを脱着すると、反動によりケガや事故の原因となります。使用するエアーコンプレッサーの吐出圧力を0MPaに調整し、本製品のスイッチ引金を2～3回引いてエアーホース内の圧縮空気を全て排出してから脱着してください。

20. 定期的に点検してください。

21. 使用しないときはきちんと保管してください。

- 使用しないときは、直射日光の当たらない・風通しの良い・乾燥した場所で、小さなお子様の手の届かない安全な所、またはカギのかかる所にきちんと保管してください。

22. 分解・改造をしないでください。

- 本製品にはいかなる改造も加えないでください。指定のパーツや純正品を使用してください。

23. ご自分で修理しないでください。

- 故障・異常時はただちにスイッチを切り、エアーコンプレッサーとの接続を外して使用を中止し、お買い求めの販売店にお申しつけください。または（株）高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やケガの原因となります。

この取扱説明書は大切に保管してください。

また、他の人に貸し出す場合は、この取扱説明書も一緒に渡してください。

お使いになる前に（続き）

⚠ 注意

1. 圧縮空気には、水分が混入する場合がありますので注意してください。

- 水分により本製品内部がサビる場合があります。特に梅雨時など湿度が高い場合は、市販の水分を除去する装置を取り付けることをお勧めします。

2. 騒音に注意してください。

- 法令および各都道府県などの条例で定められた騒音防止規制を守り、周辺に迷惑をかけないように状況に応じて遮音壁を設けるなどして規制値以下で使用してください。

3. 本体の握り部は常に乾燥させきれいな状態を保ち、油やグリースが付着しないようにしてください。

4. 本体の空気接続口は絶対に取り外さないでください。（故障の原因）

5. こまめに手入れしてください。

- 本製品は定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理をお申しつけください。または（株）高儀「お客様相談窓口」に相談してください。

◇ 注

1. 使用するエアーコンプレッサーは出力750W以上で、タンク付のものにしてください。

- タンク容量が小さいと、能力を発揮できない場合があります。20L以上を目安とし、市販の補助タンクを接続するとスムーズに作業ができます。

2. ボルト・ナットなどのサイズに合った先端工具を使用してください。また、差込角12.7mm以外の先端工具は使用しないでください。

- タイヤのホイール形状によっては、付属のソケットが使用できない場合もあります。ホイール形状に合ったインパクトソケットを使用してください。

3. エアーツール用オイルを給油してください。

- 初めて使用するときや、長期間使用しなかった場合は必ず、本体の接続口からエアーツール用オイルを適量補給してください。
- オイルを過剰に給油すると油の吹き出しや作動不良の原因となります。この取扱説明書に記載されている手順に従って、正しく給油してください。

本製品について

用途

◆軽自動車から一般乗用車までのタイヤ交換や各種整備などに

仕様

ソケット差込角	12.7mm
能力ボルト径	M14(対辺21mm)
使用圧力	0.6~0.78MPa (6.1~8.0kgf/cm ²)
空気消費量	約112.4L/min
回転数	約5,000min ⁻¹ (0.6MPaで使用した場合)
空気接続口	PT1/4
質量(本体重量)	約2.4kg

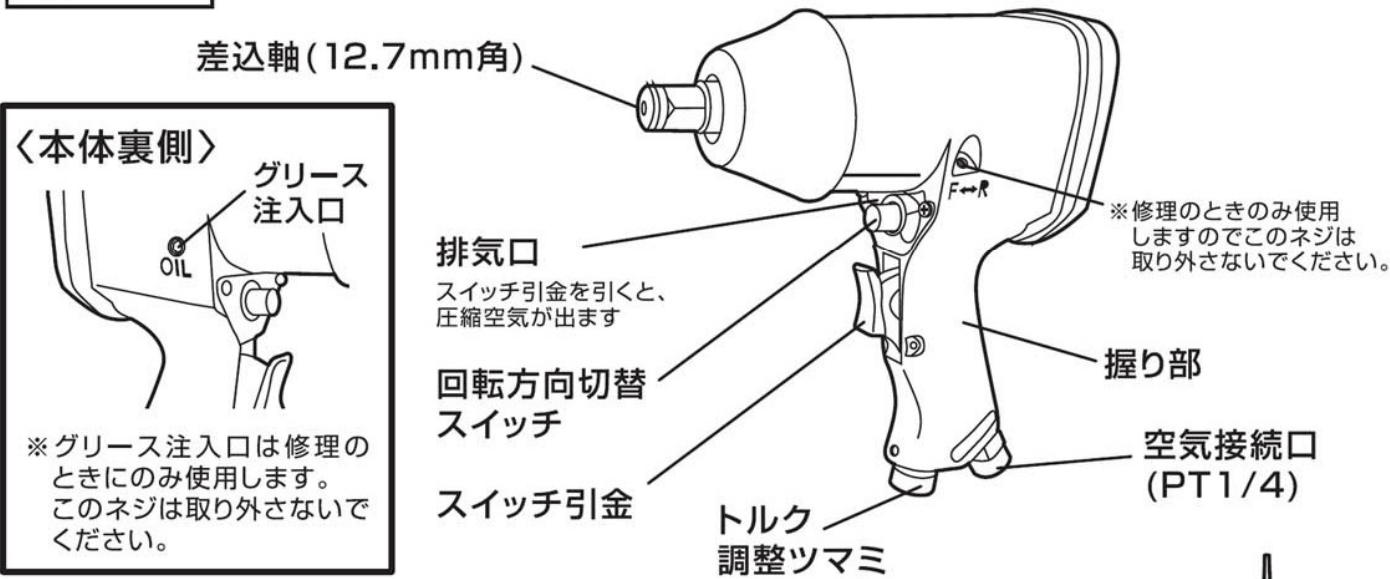
トルク	0.6MPa(6.1kgf/cm ²)で使用した場合
目盛	トルク
1	約85N・m(約8.6kgf・m)
2	約135N・m(約13.7kgf・m)
3	約195N・m(約19.9kgf・m)
4	約245N・m(約25.0kgf・m)

※トルク値は目安です。エアホースの長さや
エアーコンプレッサーの能力などにより変
わります。

※0.1MPa≒1.02kgf/cm²

各部の名称・セット内容

各部の名称



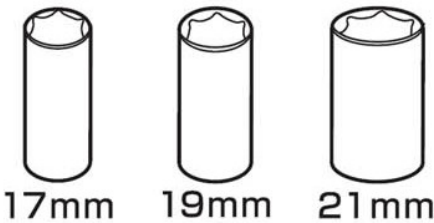
〈本体裏側〉



※グリース注入口は修理の
ときにのみ使用します。
このネジは取り外さないで
ください。

付属品

インパクトソケット

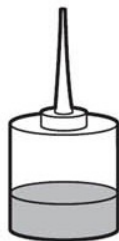


プラグ

※ネジ部にはあらかじめ
シールテープが巻かれて
います。



六角棒レンチ(4mm)



オイル差し

※オイルの過剰給油は
作動不良の原因と
なります

使用前の準備

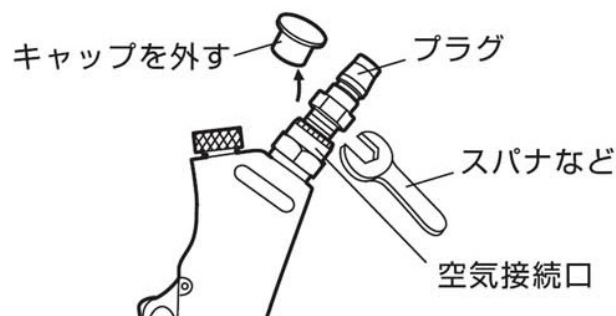
プラグの取り付けと給油について



- 付属のプラグは、工場出荷時にシールテープが巻かれた状態になっています。プラグを取り付けた後に空気漏れがある場合、市販のシールテープをネジ部に巻き付けてください。
- 初めて使用するときや、長期間使用しなかった場合は必ず、本体の接続口からエアーツール用オイルを適量給油してください。
- オイルを過剰に給油すると油の吹き出しや作動不良の原因となります。この取扱説明書に記載されている手順に従って、正しく給油してください。
- プラグの取り付けには14mmスパナなどが必要です。セット内容には含まれておりませんので、お手持ちのものを使用してください。

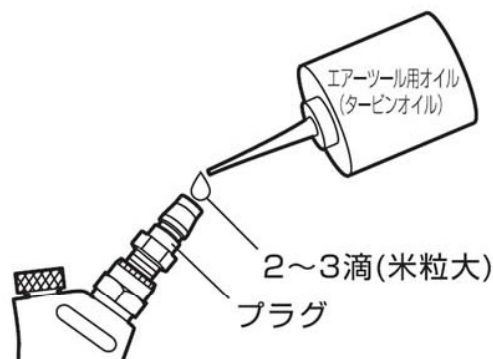
取付方法

- 本体の接続口キャップを外し、プラグを空気接続口にねじ込み、スパナなどでしっかりと固定してください。



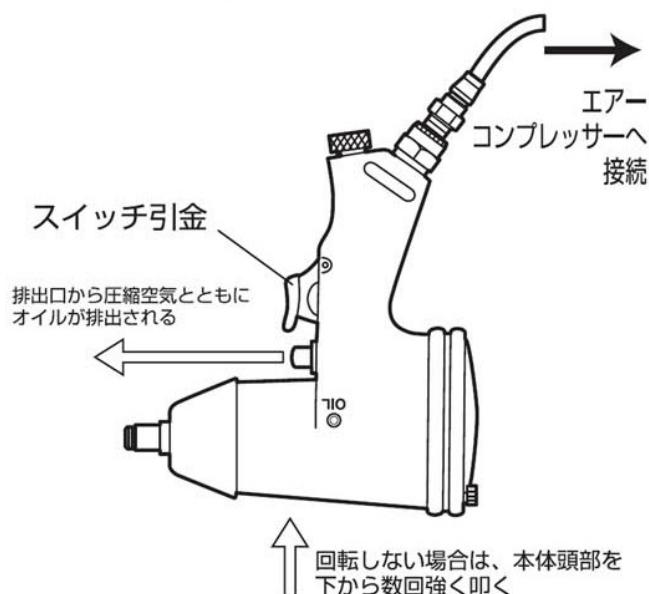
エアーツール用オイルの給油

- 初めて使用するときや長期間使用しなかったときは、本体の空気接続口から、付属のエアーツール用オイルを2～3滴(米粒大)を給油してください。給油するときはプラグを取り外す必要はありません。



過剰給油の場合

- エアーツール用オイルを過剰に給油すると作動不良の原因となります。
- オイルを入れ過ぎたときは、エアークンプレッサーに接続した状態で、本体を逆さにしてスイッチ引金を引き、余分なオイルを圧縮空気とともに排出してください。
- また、回転しない場合はスイッチ引金を引きながら本体頭部を下から数回強く叩いてください。回転し始めたら、P7を参照し通常のならし運転を行ってください。



使用前の準備(続き)

接続とならし運転

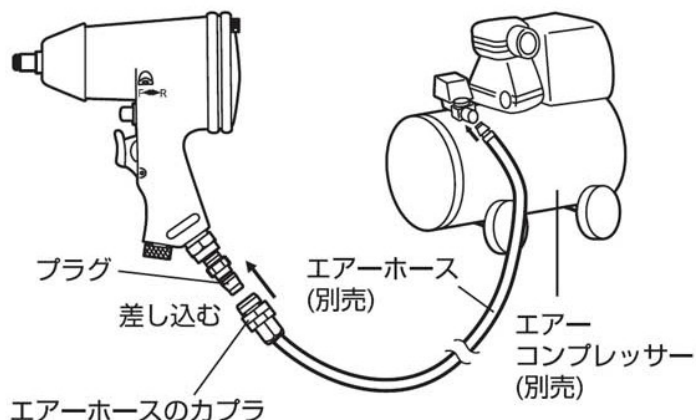
エアーコンプレッサーとの接続

警告

- エアーホースに接続する前に、調整や先端工具の取り付けに用いた工具が取り外されていることを確認してください。
- エアーホースを脱着するときは、スイッチ引金・回転部に手を触れないでください。
- 使用するエアーコンプレッサーのタンク内に圧縮空気が充填されていない状態、または吐出圧力がかかっていない状態でエアーホースを脱着してください。
- 圧力がかかったままエアーホースを脱着すると、反動によりケガや事故の原因となります。使用するエアーコンプレッサーの吐出圧力を0.6MPaに調整し、本製品のスイッチ引金を2～3回引いてエアーホース内の圧縮空気を全て排出してから脱着してください。
- 本製品をエアーコンプレッサーに接続するためのエアーホースはセット内容に含まれておりません。お手持ちのものを使用してください。

- 本製品のプラグを、エアーコンプレッサーと接続されているエアーホースのカプラに差し込んでください。

※使用するエアーコンプレッサーは出力750W以上で、タンク付のものにしてください。タンク容量が小さいと、能力を発揮できない場合があります。20L以上を目安とし、市販の補助タンクを接続するとスムーズに作業ができます。

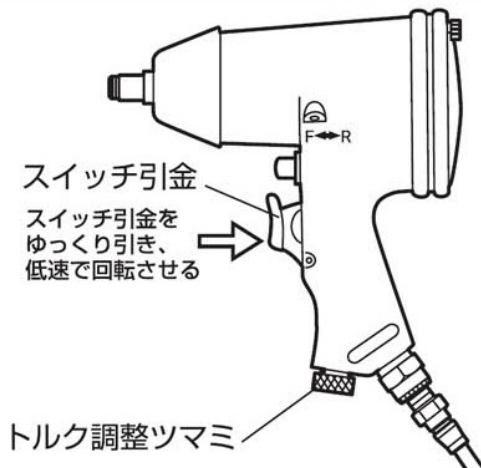


ならし運転

警告

- ならし運転および試運転は先端工具を取り付ける前に行ってください。先端道具を取り付けた状態で空回転させると、先端工具が外れて飛び出す恐れがあります。(ケガ・破損の原因)
- 使用圧力は、0.6～0.78MPaの範囲内に調整してください。使用圧力を超える圧力では絶対に使用しないでください。(事故・ケガ・故障の原因)

- 本製品をエアーコンプレッサーに接続したら、可動部分に油をなじませるために、低速でならし運転を行ってください。ゆっくりとスイッチ引金を引いてください。
- 初めて使用するときや長期間使用しなかった場合、また気温が低いときは、P9を参照してトルク調整ツマミを目盛4に合わせて5分程度のならし運転を必ず行ってください。ならし運転を行った後も動きが悪い場合は、2～3回繰り返してください。



使い方

使用方法

⚠ 警告

- 本製品でボルト・ナットを締め付けた後は、必ずトルクレンチ・クロスレンチなどで本締めしてください。
- 固く締まっていたり、サビたボルト・ナットなどは回らない場合があります。このような場合は、無理をせずクロスレンチなどの手動工具を使用してください。0.78MPa以上の使用空気圧で使用すると本体破損の原因となります。

⚠ 注意

- ボルト・ナットなどを締めるときは、手で1～2山ほど手で回してから、本製品で締め付けてください。きちんとネジ山がかみ合っていないとネジ山をいためる原因となります。
- ボルト・ナットなどのサイズに合った先端工具を使用してください。また、差込角12.7mm以外の先端工具は使用しないでください。
- 回すボルト・ナットに先端工具をきちんとかぶせてから回してください。斜めや浅掛けでの使用はボルト・ナットをいためる原因となります。

1. ならし運転が終わったら、エアーコンプレッサーの吐出圧力を0MPaに調整し、スイッチ引金を2～3回引いてエアーホース内の圧縮空気を排出した後で、エアーホースを外してください。

②スイッチ引金を引いて、エアーホース内の圧縮空気を排出する

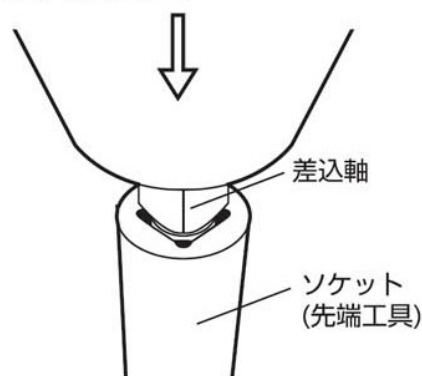
③取り外す

エアーホースのカプラ



2. 回すボルト・ナットのサイズに合った先端工具を、差込軸に確実に取り付けてください。本体の差込軸は、安全のため多少きつくなっています。きつくて差し込みにくいときは、先端工具を床などの平らな所にあて、上から本体を強く押し込んで取り付けてください。また、ソケットを取り外すときに外れにくい場合は、ペンチなどを使用して取り外してください。

上から押し込む



使い方(続き)

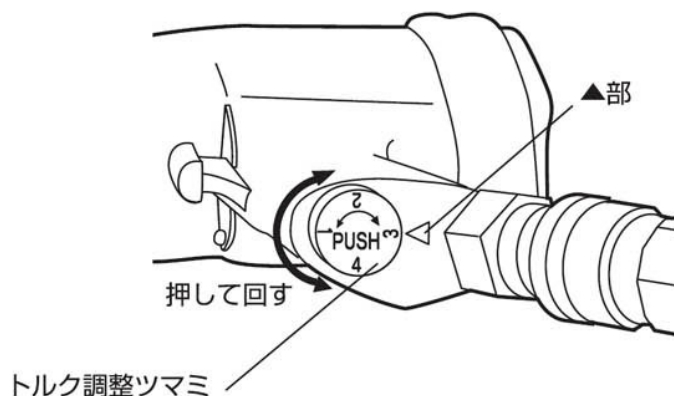
4. 本体下部のトルク調整ツマミを押しながら回して、▲部に目盛りを合わせて締め付ける力を調整してください。

0.6MPa(6.1kgf/cm²)で使用した場合

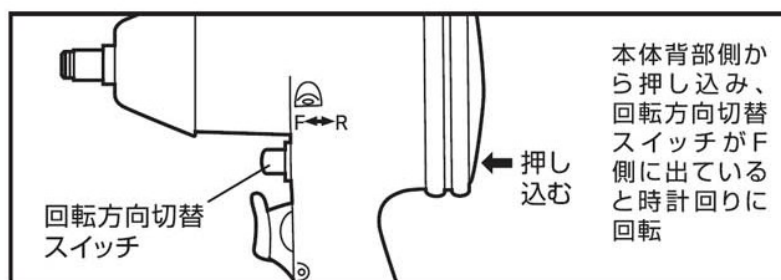
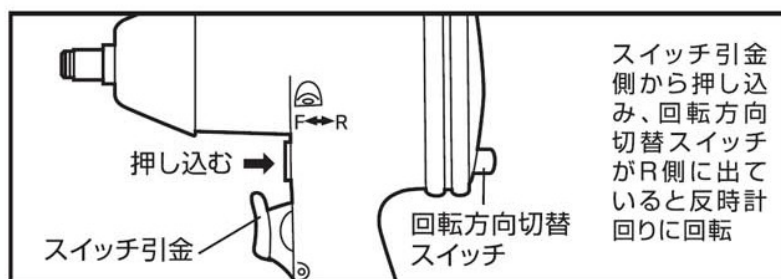
目盛	トルク
1	約85N・m(約8.6kgf・m)
2	約135N・m(約13.7kgf・m)
3	約195N・m(約19.9kgf・m)
4	約245N・m(約25.0kgf・m)

※トルク値は目安です。エアホースの長さやエアコンプレッサーの能力などにより変わります。

※ボルト・ナットを締め付けるときは、始めは目盛り1に設定し、締め付け状態を確認しながら順次トルクを調整して、適正な締め付けとなるようにしてください。

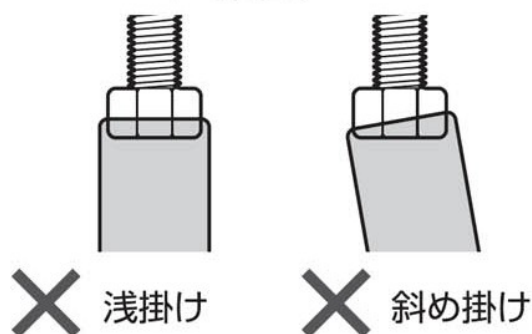
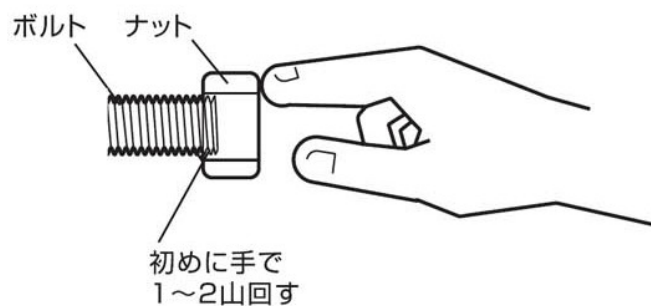


5. 回転方向切替スイッチを押し込んで回転方向を切り替えてください。ネジによっては、締め付け・ゆるめの方向が逆のものもあります。作業前に、回すボルト・ナットの回転方向を必ず確認してください。



6. 本体の接続口にエアホースを接続し、エアコンプレッサーの吐出圧力を0.6～0.78MPaに調整してください。スイッチ引金を引くと回転します。先端工具をきちんとボルト・ナットにかぶせてから徐々に引金を引いて回転させてください。

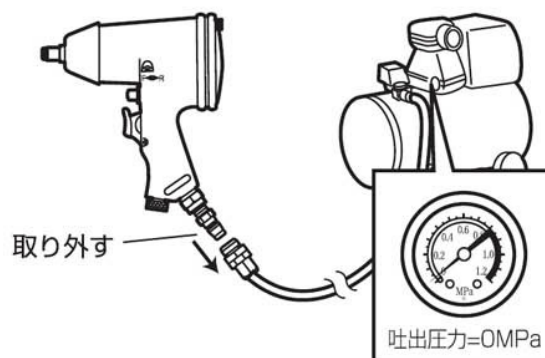
ボルト・ナットなどを締め付けるときは、手で1～2山回してから、本製品で締め付けてください。斜めや浅掛けでの使用はボルト・ナットをいためる原因となります。



お手入れ

保守・点検

- 作業終了後は、エアーコンプレッサーの吐き出し圧力を0MPaに調整し、引金を2～3回引いてエアーホース内の圧縮空気を排出した後で、エアーホースを取り外してください。
- 長期間保管する場合は、P6を参照して、エアーツール用オイルを給油してから保管してください。本体内部のサビを防止するために必ず行ってください。



⚠ 注意

- 故障の原因となりますので、本体の空気接続口は絶対に取り外さないでください。プラグを取り外すときは、空気接続口がゆるまないようモンキーレンチなどで固定して、プラグをゆるめてください。



故障かな?と思ったら

⚠ 警告

- 下記の対処で改善されない場合や、故障・異常時はただちにスイッチを切り、エアーコンプレッサーとの接続を外して、お買い求めの販売店にお申しつけください。または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。

■状態	■原因	■対処法
回転が遅い 回転しない	空気が漏れている	プラグと本体の接続口から空気が漏れている場合は、一度プラグを本体から取り外し、市販のシールテープをネジ部に巻きつけてから本体に取り付けてください。
	エアーコンプレッサーの吐出圧力が低い	エアーコンプレッサーの吐出圧力を0.6～0.78MPaに設定してください。
	エアーコンプレッサーのタンク内圧力が低下し、加圧の最中	加圧が終了するまで作業を休止してください。 ※エアーコンプレッサーに市販の補助タンクを接続すると連続使用時間を長くすることができます。
	オイルの過剰給油	オイルを入れ過ぎたときは、本体を逆さにしてスイッチ引金を引き、余分なオイルを圧縮空気とともに排出してください。 また、回転しない場合はスイッチ引金を引きながら本体頭部を下から数回強く叩いてください。回転し始めたらP7を参照し、通常のなりし運転を行ってください。
本体から水滴が吹き出す	エアーコンプレッサーのタンクに水がたまっている	エアーコンプレッサーの取扱説明書を参照し、タンク内の水を抜いてください。また、本製品にはサビ防止のためオイルを2～3滴給油してください。

保証書

※保証期間内において取扱説明書に従い、正常な使用・保管状態で故障した場合、本保証書により、無償で修理致します。
(本保証書はお買い上げ商品にのみ適用されますので、一切の工事費用などは適用外となります。)

JANコード	4907052 378889	保証期間	お買い上げ日より 6ヶ月
お買い上げ日	年 月 日		
販売店	※販売店名・お買い上げ年月日を証明できるものがない場合、無効となりますので必ずご確認ください。		

※保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。

保証期間内でも次の場合は有料となります。

- (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷。
- (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
- (ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災・異常電圧による故障および損傷。
- (ニ) 一般家庭用以外(例:業務用の長時間使用、車輛・船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
家庭用商用電源以外での本体・併設設備の故障および損傷。
- (ホ) 本書の提示がない場合。
- (ヘ) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合・あるいは字を書き替えられた場合・個人販売など販売店名が不明な場合。

※本体以外の付属品・消耗品は保証の対象外となります。

発売元



株式会社 高儀



技術的・専門的情報のお問い合わせは…

TEL 0258-66-1233 〒954-0111 新潟県見附市今町5-408

受付時間 AM9:00~PM5:00 (土日祭日および当社の休日を除く)

■お客様相談窓口における個人情報の取り扱い

弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知したうえで必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただき、その記録を残すことがあります。個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。

型 式	品 名
ATL-100	EM エアーインパクトレンチセット

※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。